



# 地理空間情報の活用推進に関する行動計画 「G空間行動プラン2020」(案)の概要

---

令和2年6月

地理空間情報活用推進会議



## G空間行動プラン2020

- 地理空間情報活用推進基本計画(平成29年3月閣議決定)に基づき各府省において推進する具体的施策について、地理空間情報活用推進会議の下、毎年度その進捗状況のフォローアップを行い、「地理空間情報の活用推進に関する行動計画」(G空間行動プラン)としてとりまとめ、PDCAサイクルにより、地理空間情報の総合的・計画的な活用を推進。
- G空間行動プラン2020では、13件のシンボルプロジェクトを含め、全体で142件の施策を総合的に推進。

### G空間プロジェクトのPDCAサイクル

地理空間情報活用推進基本法

(平成19年 法律第63号)

地理空間情報活用推進基本計画

(第3期:平成29年度~令和3年度)

(平成29年3月24日 閣議決定)

G空間行動プラン

(毎年度)

(地理空間情報活用推進会議決定)

フォローアップ  
(5年ごと)

フォローアップ  
(毎年度)

施策の実施

### 第1部

#### 統合型G空間防災・減災システムの構築に向けて

近年激甚化・頻発化する災害から国民の命を守り、地域の暮らしや経済を守るため、地理空間情報を高度に活用した防災・減災に資する技術を活かした各府省の取組を有機的に連携させる「統合型G空間防災・減災システム」の構築に向けた取組についてとりまとめている。

### 第2部

#### シンボルプロジェクトの進捗状況

基本計画において、重点的に取り組むべき施策として位置づけられている13のシンボルプロジェクトについて、令和元年度の達成状況及び令和2年度の実施内容をまとめている。

### 第3部

#### 基本計画のフォローアップ報告

基本計画に基づく各施策全体に関するフォローアップ報告として、令和元年度の達成状況及び令和2年度の実施内容をまとめている。

# 地理空間情報が作る未来 ～G空間社会の実現～



地理空間情報を高度に活用した世界最先端の技術の社会実装により、  
一人一人が「成長」と「幸せ」を実感できる「G空間社会」を実現





# G空間プロジェクトの社会実装の推進(シンボルプロジェクトの概要)



地理空間情報活用推進基本計画に基づき、G空間情報を高度に活用した安全・安心で豊かな社会(G空間社会)を実現するため、準天頂衛星システムの7機体制の確立及び機能性能向上等を図るとともに、地理空間情報活用技術による「統合型G空間防災・減災システムの構築」を始め、農業・交通等の多分野にわたるG空間プロジェクトの着実な社会実装を政府一体となって強力に推進する。

## 国土を守り、一人一人の命を救う

◎以下のシンボルプロジェクトを含め、「統合型G空間防災・減災システム」の構築に向けて、省庁間連携、産学官連携の取組を推進

- ①準天頂衛星システムを活用した避難所等における防災機能の強化
  - ・実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進
- ②津波浸水被害推計システムの運用
  - ・総合防災情報システムの整備と運用
- ③G空間防災システムの普及の促進
  - ・地域防災等のためのG空間情報の利活用推進

### 国土を守り、命を救う



安否を確認 避難を誘導 津波を予測

## 新時代の交通、物流システムを実現する

- ④高度な自動走行システムの開発・普及の促進
  - ・戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動運転(システムとサービスの拡張)
- ⑤準天頂衛星を活用した無人航空機物流事業の促進
  - ・準天頂衛星を活用した無人航空機物流実証事業

### 新時代の交通、物流システム



自動運転車



物流を最適化

## 多様で豊かな暮らしをつくる

- ⑥屋内空間における高精度測位環境づくりの促進
  - ・高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進
- ⑦G空間情報センターを活用した大規模イベント来場者等の移動支援
  - ・地理空間情報の流通・利用の促進
- ⑬地理空間情報の循環システムの形成
  - ・地理空間情報の流通・利用の促進

### 多様で豊かな暮らし



高精度ナビゲーション

## 地方創生を加速する

- ⑧農業機械の自動走行技術等の開発・普及の促進
  - ・スマート農業総合推進対策事業
  - ・スマート農業技術の開発・実証プロジェクト
- ⑨地理空間情報とICTを活用した林業の成長産業化の促進
  - ・地方公共団体における森林GIS等の整備
  - ・林業イノベーション推進総合対策のうちスマート林業構築推進事業等
- ⑩i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進
  - ・i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進
- ⑪中小企業・小規模事業者の研究開発・サービスモデル開発の推進
  - ・測位衛星やリモートセンシング衛星等を活用した中小企業・小規模事業者の革新的なものづくりや商業・サービスの事業化を推進

### 地方創生を加速



IT農業



IT林業

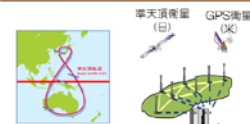


i-Construction

## G空間社会を世界に広げる

- ⑫電子基準点網及び準天頂衛星システムを活用した高精度測位サービスの海外展開
  - ・宇宙システム海外展開タスクフォース
  - ・国際連携・海外展開等推進経費
- ⑬地理空間情報の循環システムの形成(再掲)

### 世界に広げる



海外展開



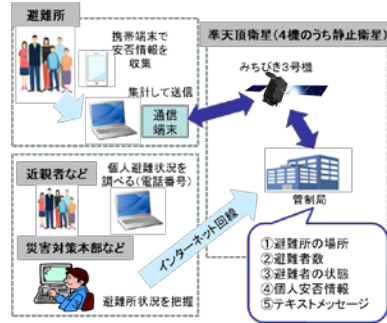
## 準天頂衛星システムを活用した避難所等における防災機能強化

### 【令和元年度までの達成状況】

・7県（高知県、香川県、埼玉県、和歌山県、徳島県、新潟県、静岡県）に対して端末を貸与し、試行的な導入を実施。新たに5県（秋田県、茨城県、愛知県、山口県、宮崎県）に対して安否確認サービスを試行的に導入することが決定。合計12県で安否確認サービスを導入。

### 【令和2年度の実施内容】

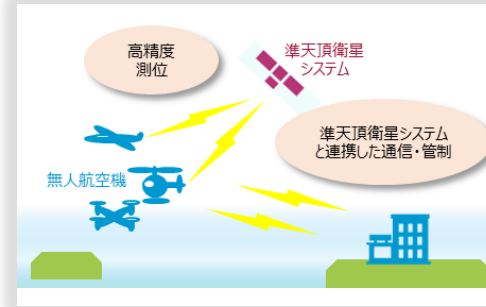
・令和3年度を目標に20都道府県への普及を図るとともに、SIPの成果を活用し、スマートフォンと連携して安否情報等を収集するシステムの開発・実証を行う。



## 準天頂衛星を活用した無人航空機物流実証事業の促進

### 【令和元年度までの達成状況】

・離島間物流の実用化に向けて、準天頂衛星システムからの信号を受信する無人航空機での飛行試験を実施。故障等の情報により、自律的に経路を変更し、高精度測位情報を用いて緊急着陸地点まで飛行することを確認。



### 【令和2年度の実施内容】

・準天頂衛星受信機のドローンへの搭載性向上のため、受信機の小型化・省電力化を進める。

## 農業機械の自動走行技術等の開発・普及の促進

### 【令和元年度までの達成状況】

・平成30年度にほ場内での自動走行システムの販売を開始。  
・農業機械の無人システムの実現に向けて、ロボットトラクターの遠隔監視システムの開発を実施。  
・安全性確保ガイドラインについて、ロボット田植機、ロボット草刈機を対象に追加。

### 【令和2年度の実施内容】

・遠隔監視による農業機械の無人自動走行システムの実現に向けた研究開発を実施。同システムの実演を令和2年中に予定。

ロボットトラクター



ロボット田植機



## i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進

### 【令和元年度までの達成状況】

・『3次元情報活用モデル事業』の実施。  
・ダム、橋梁等の予備・概略設計におけるBIM/CIMを積極的な活用。  
・3次元データを活用するための基準等の制定・改定および3次元データを活用する環境整備の実施。

### 【令和2年度の実施状況】

・「BIM/CIM活用ガイドライン(案)」の拡充をするなど、3次元データを利活用するための基準要領等の制・改定を行うとともに、オンライン電子納品システムの運用開始など、3次元データを活用する環境整備を行う。

ICT土工



ICT舗装

